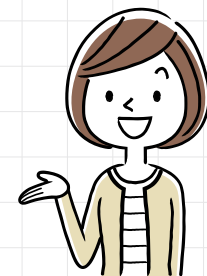


親子で学ぶ！ エネルギー見学バスツアー —体験レポート—

当会では、私たちの生活を支える大切な「エネルギー」についてより理解を深めてもらうため、今回で3回目となる親子を対象としたエネルギー施設の見学バスツアーを開催しました。当日は、5組10名の親子の皆さんにご参加いただき、発電所の見学や地域の魅力を体験。笑顔あふれるバスツアーの様子をご紹介します。



今回は水力と地熱の施設へ 見学が「学ぶ」の学びが「体験」

2025年7月31日、雲一つない夏空の下、宮城県福島県から集まった5組の親子とともにエネルギー見学バスツアーがスタートしました。郡山駅から大型バスに乗り込み、目指すは奥会津方面。車内では、事前に配布された学習BOOKやDVDを見ながら、「日本はエネルギー自給率が他国と比べて低い水準にあること」「日本の電気の約7割は火力発電で作られており、燃料は主に輸入に頼っていること」「温室効果ガスを排出せず、自然の力を利用した再生可能エネルギーが目ざれていること」「発電方法にはそれぞれにメリットとデメリットがあり、複数の発電方法をバランスよく組み合わせる『エネルギーミックス』の考え方が重要なこと」などについて学びました。

日本有数の水力電源地帯に オープンした「みお里」を見学

「再生可能エネルギーにはいろいろな種類があるんだね」「太陽光発電はなんとなく分かるけど…その他の再生可能エネルギーはどうやって発電するんだろう」など、さまざまな疑問が湧き始めたところで到着したのは、福島県金山町にある「東北電力奥会津水力館みお里」です。2020年にオープンした「みお里」の館内は木の優しい香りに包まれ、ラウ



ンジからは雄大な只見川を眺められます。子どもたちも「川がキラキラしている」と目を輝かせます。初めにシアターホールで、大型ディスプレイ映像による水力発電の仕組みや奥会津の美しい自然と人との暮らしを学習します。水力発電は、高い位置にある水を低い位置に落とす際のエネルギーで車を回し、発電する仕組みです。全長約14.5kmの只見川には東北電力の水力発電所だけでも7つあり、東北電力の水力発電総出力の約3割を占めているとのこと。奥会津地域が全国でも有数の水力電源地帯であることが分かりました。

次に、12人の作家がそれぞれの手法で只見川の魅力や暮らし、水力発電を表現した作品を展示するギャラリーを見学。東北電力初代会長・白洲次郎氏に関する資料や、模型などを使って体感的に水力発電を学べるコーナーもありました。

柳津西山地熱発電所で 巨大な機械に感動！

再びバスに乗り、次は柳津町にある「東北自然エネルギー株式会社柳津西山地熱発電所」へ。再生可能エネルギーの一つ、地熱発電を学びます。

まずは「PR館」でガイドの方から地熱発電の仕組みを教わりました。

このあたりは私たちも大好きな温泉が豊富で、はるか昔には火山活動が活発だった一帯です。地下1500



2600mほど掘り、マグマだまりで高温になった蒸気(200〜300℃)を汲み出し、その蒸気でタービンを回して発電します。蒸気と分離された熱水は冷却塔で冷やして、また地中へ戻されます。私たちに身近な発電方法とも言える地熱発電のメリットは天候の影響を受けにくく安定的に発電でき、CO₂排出量も少なく環境への負荷が少ないこと。火力発電と似た仕組みながら、ボイラーが不要なので、無人で稼働できることも利点です。一方、定期的な大規模な機械のメンテナンスが必要となります。

館内の展示を見学後、発電所の内部へ。タービンと発電機のある「タービンフロア」は巨大な空間です。「なんでこんなに広いの?」という疑問に、「4年に一度、あの大きな機械をクレーンで分解して点検するため、これだけの広さと天井の高さが必要なんだよ」とガイドの方が説明してくれました。自分たちの体ほどもある大きさの部品を見て、興奮気味の子どもたち。写真を撮ったりパネルの説明をじっくり読んだり、知的好奇心が刺激されたようでした。

他にも、十割そばや会津名物のソースカツ丼を味わったり、「福満虚空蔵菩薩霊巖山圓藏寺(会津柳津虚空蔵尊)」に立ち寄り、地域の魅力も体験。帰りのバス車内では1日に数本しか走っていないJR只見線車両に遭遇し、最後まで笑顔の絶えないツアーとなりました。

参加した親子の声

- 水力発電の良さは、地形を生かし、自然と共存し、燃料を燃やすことなく、人々の暮らしを乱さずにエネルギーを生み出せることだと感じました。
- 何万年前に爆発した火山のエネルギーが生活を支えてくれていることを知って驚きました。マグマの熱を電気に変換する技術にも感動しました。
- 発電の仕組みについて私自身も知らないことが多く、興味深かったし、大人も勉強になり楽しめる施設でした。
- エネルギーミックスの一番良い組み合わせは、難しい課題だと感じました。環境を守ることと便利さのバランスを考えてみようと思います。
- 子どもたちが福島県に自然の力を活かした施設があると知ることができてよかったと思います。「自分の目で見た」ことが大きな経験に、そして学びにつながるのではないのでしょうか。

ツアーの様子を各媒体で紹介中！

参加者のInstagram投稿

YouTubeの
ショート動画



地域情報
サイト
(宮城・福島・
山形・新潟)

当会HPよりご覧いただけます